

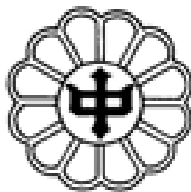


12月4日(月)

2023年(令和5年)

発行所:東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社



新しい働き方を考える

マイナビと毎日新聞社による「キャリア講座」が12月4日マイナビPLACE(東京都中央区銀座)で開かれました。AI(人工知能)が進歩していく世界で、将来どんな職業を選びますか。

講座に参加した千代田区立麹町中学校の生徒が未来の働き方や社会のあり方について考えました。

これからの社会の生き方

12月4日(月)、マイナビの執行役員である栗井俊介さんと京都芸術大学教授の竹村眞一さんの講義を聞きました。

今回、栗井さんの講義では、変わりゆく時代に私たちはどう対応していけば良いのか、竹村さんの講義ではVUCAの時代である現代に、どのような行動を取れば良いのかといった内容を述べられていました。



特に興味を持ったのは、栗井さ

んのAIとの関わり方についてです。進化していくAIと人間との競争を描いたようなプレゼンで、とても興味を惹かれました。講義を聞いて、AIと人間の利点をはつきりさせ、それぞれがその利点を生かせるような社会を目指したいと考えました。しかし、AIが仕事をできるようにになるとその分失業者が増えてしまうという課題があります。その課題を解決するためには、人間の利点で

ある感情表現やコミュニケーション力、想像力を伸ばし、仕事に就けるよう努力することが、AIには無い人間ならではの強み。新しい仕事を作り出すことが必要であると考えました。

これらのことから、AIが進化するにつれて人間も進化していかなければならないような社会になりかけていることが、現代の課題であると感じました。

今回の講義から、これからの社会での生き方や課題など、さまざまな事柄を知ることができました。

【金田めぐみ】

VUCA時代の未来

今回の話を聞いた感想は、三つあります。一つ目は、栗井さん、竹村さんの話で共通していた「VUCA」についてです。なぜ、VUCAという単語に目を付けたかという初めて聞いて気になったからです。そして、栗井さん、竹村さんの話を聞きVUCAとは「変動性」「不確実性」「複雑性」「曖昧性」が合体したものだということと、現代はVUCA時代ということが分かりました。

二つ目はAIと人間の関係についてです。例えば、AIは学習力や記憶力はとてもいい、でもAIが正確にできるのは機械だからです。AIは何でも正確にこなしますが、感情の表れがありません。人間には感情があり嫌な事や嬉しいことは表情に表しています。人間の良いところは感情があり想像力がとても豊かなところだと思います。

三つ目は、現在問題となっている地球温暖化についてです。地球温暖化によりVUCAな時代とも



言えます。そして、地球温暖化による未来は変えられるのかという問題。人類は地球のOSを更新する唯一、初の生物ではない。しかし、その未来を「選択」した唯一の初生物であるそうです。

この感想をまとめると、現在起きていることとこれからの未来について将来の問題について考えました。

【高田海奈】

人間にしかできない仕事

僕は人を助ける、もしくは寄り添う仕事をしてみたいと思っています。理由は元々足の病気を持っていた祖父を昔から看護していて、段々保育士や看護師などの仕事に興味をもったからです。

もし何か人を助ける仕事に就いたときにしたいことは何かというと、できるのであれば外科医とかになり体の傷を治したり、もしくは保育士になり子ども達を少しでも幸せにしたい。たりして体の不自由な人の生活を手伝うなどの仕事がしたいと思っています。しかもこの仕事は人の心を元気にする仕事でもあるので、人間にしかできないであろうと思いい選びました。

【藤森潤】